

須木中学校通信

令和6年度 2月号
小林市立須木中学校
令和7年2月21日(金) 文責:中屋敷

○青少年健全育成標語・善行青少年・家族の作文合同表彰式 2月3日(月)

小林中央公民館において、青少年健全育成標語・善行青少年・家族の作文の合同表彰式がおこなわれ、本校からは3名が表彰されました。

○ **青少年健全育成標語**: 中学生の部 **最優秀賞** 「あいさつが 地域の犯罪 へらすかぎ」 2年 山本寛輔さん

○ **善行青少年**: 3年 綿引来空さん

学校において、生徒会長として各行事や活動などでリーダーシップを発揮しながら、献身的に尽力するとともに、地域の行事や社会福祉協議会主催のボランティア活動にも率先して参加し、大きく貢献したことが認められました。

○ **家族の作文**: 中学生の部 **最優秀賞** 「両親」 3年 黒木瑛太さん

ぼくの両親の話をします。

まずは父です。父は自由な人です。趣味の釣りに早朝から出かけて釣れた魚を調理したり、周りに配ったりしています。誰よりも自由な父ですが、誰よりも人を思って生きています。家族のこと、友だちのこと、お世話になった人のこと、たくさんの人々のことを想い、また想われています。そんな父から僕は、「人と生きる幸せ」を学びました。この時代、人との関わりは最低限になりつつありますが、直接会ってこそ得られる幸せがあると知りました。

次は母です。母はおおらかな人です。自由な父が自由でいられるのは、母のおかげだと想います。

家に母が居るだけで、心が軽くなります。居るだけで安心できる、僕の大切な存在です。いつも優しく僕を見守り続けてくれます。そんな母からは「誰かを愛せる幸せ」を学びました。母はたくさんの愛を持っていました。食べること、遊ぶこと、好きなことをすること。そこにそれぞれの愛があります。そんな中で母は、夕食時に幸せを感じると言います。家族みんなで同じものを食べて、その日のことを話す。何気ないことですが、それが幸せと思えるのは母が家族を愛しているからだと思います。

人を愛することは、僕の人生を愛することと知りました。僕は、これからもっとたくさんのことと両親に学ぶと思います。その一つ一つを大切にしていきたいと思います。

○2年生 立志式 2月7日(金)

6名の生徒がそれぞれ自分の選んだ言葉に込められた思いを発表しました。それを受け、保護者の方からのメッセージが送られましたが、それぞれ子供の思いを受け止め、そして応援する気持ちが込められていました。



○小林市PTA研究大会 2月9日(日)

今年度の大会は、須木小中PTAが大会運営を行い、小中の保護者の皆様の全面的なご協力により、無事に運営を完了することができました。また、麓地区の皆様には剣舞「一の谷」を披露していただき、大会を盛り上げていただきました。保護者の皆様、麓地区の皆様、本当にありがとうございました！



○ボッチャ大会 2月15日(土)

須木ふるさとセンターのホールでボッチャ交流大会が行われ、中学校からは1チーム3名が出場しました。予選リーグで2勝し、決勝に進みましたが、同点で迎えたサドンデスの結果、惜しくも敗れ2位となりました。



地域の皆様と楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

○3月の主な予定

7日(金)送別行事、弁当の日
16日(日)第77回卒業式
18日(火)県立高校合格発表

26日(水)修了式

28日(金)離任式(予定)

※変更の場合もありますので、学級通信等でご確認ください。

○編集後記

市の合同表彰式では、それぞれの部門で須木中から受賞者がいたことを大変うれしく思っています。後輩の目標となり励みとなります。また、市PTA大会においても、業務を分担された保護者の皆様の献身的な活動の様子に、麓地区の皆様に剣舞をご披露いただいたことに感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

上記予定に県立入試がないのでは?と気づかれましたか?すでに3年生の生徒全員が第1志望の高校に全員合格及び合格内定を決めてくれたからです。これも後輩の目標となり励みとなります。3年生のみなさんありがとうございました! (中)